

萌生会

ぼ う

せ い

か い

西宮市立西宮東高等学校

同窓会報 第11号



Contents

- あいさつ
- 萌生会50周年記念同窓会報告
- 同窓生だより
- 事務局だより

2017
春

ご挨拶



萌生会50周年を終えて

萌生会 会長 黒田 利彦 (13回生)

萌生会50周年記念同窓会を一昨年8月15日に開催しましたところ、多くの会員の方々にご参加いただきました。久しぶりの母校をCOMINGHOMEして色々高校生当時を思い出していただけたのではないのでしょうか。久しぶりの校舎や銅板が懐かしかった、旧交を暖められてよかったなどの感想をいただきホールでの式典や公演鑑賞のあと、大時計を吹奏楽部のファンファーレを合図にお披露目しました。震災で故障したままになっていたのを、50周年記念事業の1つとして皆さんにご支援いただき新しく設置することができました。ライト付きとパワーアップしましたので、夜の姿がとても綺麗ですので、機会があれば是非ごらんいただけたらと思います。記念同窓会開催にあたり、準備・運営など多くの時間を費やしていただいた関係者の方々に感謝いたします。

今年から萌生会のホームページをもっと、もっと頻繁に更新して、生徒の活動、行事、会の活動等をアップして行きたいとおもっていますので、皆様もチェックしてください。

今春52回生の新入会員を迎えました。萌生会が会員の皆さんのご協力・ご支援のもと、絆を深めた素晴らしい会となりますようよろしくお願いいたします。また西宮東高校のさらなる発展を祈念いたします。



先輩に感謝

学校長 足立 年樹

萌生会の会員の皆様には、日ごろから格別のご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、皆様にはいつも母校のことを心にとめていただいておりますことを、心より感謝申し上げます。平成29年3月、52回生が卒業し、卒業生は18,500名を超えました。

今年度は卒業された先輩方の母校愛を感じる事が何度もありました。今、中学生を対象に学校説明会を年に5回行っていますが、学校紹介ビデオを作成してくれたのは28回生の先輩でした。新しい感性で作成されており、中学生に大好評でした。今年の芸術鑑賞会では、16回生の先輩の主宰する劇団クロックガールズにお越しいただきました。たくさん脚本を書かれているだけあって、素晴らしい内容でした。修学旅行は、沖縄の伊江島に行きましたが、ボーイング777の機長は15回生、副操縦士は20回生の先輩でした。お二人とも母校のためにと、かなり苦勞をして日程調整をしていただき、奇跡のフライトが実現しました。西宮東高校は先輩方に支えられていると言うことを、全生徒、全職員が感じています。

萌生会の皆様には、ますますご健勝で各方面においてご活躍いただき、これまで同様に後輩たちを見守り、西宮東高校のさらなる発展にお力添えをいただければ幸いに存じます。今後ともよろしくお願いいたします。



東高校リフレッシュ

教頭 奥村 政浩

東高校も今年で創立以来54年の月日を重ねました。ここ5年は老朽化・劣化した施設が改修され、また新しい施設・設備もでき、東高校も多くの箇所でもリフレッシュしました。平成24年度には萌生会・育友会のご尽力で正門が新しくなり、北館1階に特別会議室を新設したのははじめとして、体育館フロア、多目的室が改修されました。25年度には耐震工事も完了し、トイレやコンピュータ教室が改修されました。26年度には萌生会50周年の事業で南校舎に大時計が復活しました。また、グラウンドの夜間照明も設置されました。27年度にはクラス増を見こして駐輪場が増設され、視聴覚教室や生物講義室が大改修されました。28年度には北館にエレベーター棟が新設され、物理第2教室の大改修も行われました。また、社会科教室や武道場の天井も改修されました。

このようにリフレッシュした東高校を卒業生のみなさんも是非訪れてみて下さい。

萌生会50周年記念同窓会報告

開催日：平成27年8月15日(土)

萌生会50周年記念式典を終えて

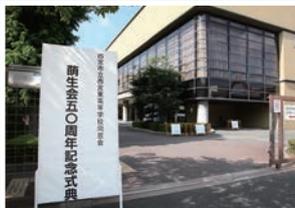
黒田利彦新会長の下、50周年節目の式典は母校での開催を希望し、足立年樹学校長の協力も得て無事執り行うことができました。

司会は、1回生近藤光史氏と50回生宮明里帆さんをアシスタントにお願いし、現役吹奏楽部による校歌演奏に続き、16回生江頭美智留氏の演出による劇団クロックガールズ「不幸自慢」は、迫力・感動があり大変好評でした。また、記念行事の一環として準備していた南学舎の大時計も、皆様方からの賛助金によりこの日にお披露目、寄贈出来たこと、この場をかりて御礼申し上げます。

その後、校内の卒業記念文字を探されたり、体育館内の卒業生名の銅板前では、ご自身の名前を写真に収められたりして、学生時代にタイムスリップされたのではないのでしょうか？午後からの会食では、懐かしい校舎西側の食堂を利用させていただき、和やかな雰囲気でお終えることができました。

この度の記念式典は、卒業生と在校生での手作り感のあるもので、役員一同自画自賛の出来栄でした。ご来場頂いた萌生会会員の皆様、ご尽力頂いた萌生会役員の皆様、また、ご協力頂いた関係各位に深くお礼申し上げます。

13回生 佐々 康樹



司会：近藤光史氏
宮明里帆さん



吹奏楽部演奏



大時計披露



クロックガールズ (江頭さんとの出会い)

エガポンこと江頭美智留は、私の2学年下で、浜甲子園中学校演劇部の後輩でした。東高に進学したエガポンは、サッカー部のマネージャーにもなろうかと、クラブ見学で校庭をウロついていたところ、運悪く私に出くわし、そのまま南校舎4階の演劇部部室に連れて行かれ、今に至ります。

萌生会50周年の舞台上、エガポンが『不幸自慢』の脚本を手掛けることになり、当時部長だったミカと私たちOGも劇団クロックガールズと一緒に舞台に立たせてもらいました。科白をいただき、リハーサルに臨むと、40年近く前の事が蘇ってきました。

3年生の文化祭、ミカが脚本を書き、大掛かりな舞台背景も描き、部員以外の男子や先生もエキストラ出演させ、アミティホールでの本番は大いに盛り上がったのです。この作品は、後日ピッコロシアターで開催された演劇コンクールで優秀賞を受賞したのです。

時は流れ……。

『不幸自慢』を客席で観ていた私の同級生たちは、男子も女子もなぜか涙が溢れたとのことでした。

アラ還となった私たちですが、高校時代の3年間は掛け替えのない時間だったと改めて思い、出会った人たちとの縁をつくづく感じるのです。



昭和53年 文化祭終演後撮影



14回生 リタこと中村 香苗

同窓生だより



自由な発想が今を

9回生 畑中 秀敏
(素戔鳴神社宮司)



甲子園で生まれ育ち61年。東高校時代という、あまり良い話ではないので恐縮ですが、ろくに勉強もせず、髪を伸ばし詰襟にジーンズといったヘンテコな格好で登校しておりました。放課後は好きな音楽やバイク、スキーや自動車と今の高校生では考えられないような体験を沢山しました。

現在は「甲子園神社」とも呼ばれる「素戔鳴神社」の宮司ですが、この体験は日々のお勤めの中での自由な発想に繋がります。高校野球には野球のお守り（ボール型やベース型）。またお正月にはタイガースの絵馬を括り付けた破魔矢を授与するなど、一風変わった野球の神社として知られるようになりました。

これ偏に東高校の先輩方が築いてくださった自由な校風のお陰で生まれ、こんな神主が出来上がったと感謝

しております。(笑)

最近では同級生が孫を連れ、お宮参りや七五三詣に来てくださいます。私にも40数年の間に子供4人にも恵まれ、なんと全員が私の後輩として東高校を卒業しました。

現在は厳格な校風に真面目な生徒さんが通う姿を見つつ、「孫も東高校に通ってくれたら嬉しいのになあ。」と夢を見る今日です。

たかがサッカー、されどサッカー、されど東高校サッカー部

14回生 山田 聖
(医療法人社団 山田産婦人科 理事長)



中学3年間サッカー部に在籍してサッカーに明け暮れた。東高校にあこがれたのもサッカー部に入部したかったからである。

希望通り東高校に合格することができ、中学で同じサッカー部だった牧くんと共にサッカー部に入部した。当時のキャプテンは同じ鳴尾中学出身の中村さんだった。

高校の初練習で全体練習後に中村さんから締めの話があり、この後は何週グラウンドを走らされるんだろうと覚悟していたのだが、「お疲れさん。解散。」で練習が終わってしまい牧くんとポカーンと顔を合わせたことを今でも覚えている。

サッカーグラウンドの端から端までダッシュで走り、ジョギングで戻ってくるインターバル5本が、練習最後の定番だったのも懐しい思い出だ。

雨の日はもちろん、正月も元旦から練習があった。高2の県大会で武庫之荘高校を破って兵庫県3位になり、高3の春に滋賀県で開催された近畿大会に出場した。

1回戦は大阪の西野田工業に逆転勝ちしたが、2回戦で滋賀の比叡山高校に敗れた。当時は高3の夏の高校総体までクラブ活動をするのが普通であったが、私は医学部への進学を考えていたため、顧問の清水先生に相談に行き、皆より一足早い退部を許してもらった。「医学部はかなりレベルが高いけど絶対に諦めるなよ。」と励まされた。一浪して医学部に合格し清水先生に報告に行くと、「うっそー！ホンマかー！頑張ったな！」とありえないくらいに驚かれた。

大学に入ってもサッカーを続け5回生で副キャプテンを務めさせてもらった。西日本医学部サッカー部門でベスト8、関西医科大学サッカー大会で3位となったことは良い思い出である。医師となってからも尼崎の関西労災病院のサッカー部に所属させてもらい40歳過ぎまでサッカーを続けた。来春57歳となるが、産婦人科医として日曜日深夜も関係なく分娩に手術にと取り組んでいるのは、東高校サッカー部で鍛えられた体力と忍耐力の賜物であると感謝している。もちろん、東高校の卒業生も数えきれないくらい私共のクリニックに来院していただいているし、最近では同級生の娘さんの御出産に立ち会う機会も増えており、プレッシャーを感じつつも大変嬉しく思っている。これからも地域の方に信頼していただけるクリニックを目指して頑張っていこうと思っている。

幸せな不幸自慢

16回生 江頭美智留
(脚本家 劇団クロックガールズ主催)

母校である東高校に立派なホールが出来たと知った時から、いつか、そのホールで公演が打てるようになりたいと願ってきました。その願いが、萌生会50周年という貴重な記念イベントで実現するとは！

母校への思いと同窓生への思いを詰め込んだ【不幸自慢】という20分の短い芝居を書きました。高校卒業後二十年あまり過ぎて同窓会で再会するかつての同級生たちが、今の自分が、いかに不幸かを競い合うコメディではありますが、「どんなに今が不幸でも辛くても苦しくても、あなたは一人じゃない」、そんなメッセージを描きました。それは、私自身が、これまで何度も自分に向けた言葉でもあるのです。

脚本家という仕事に行き詰まった時、いつも思いを馳せたのは、東高校での3年間でした。授業をさぼっても演劇部の活動だけはさぼらなかつた3年間。

中学時代の演劇部の先輩に強引に演劇部に入部させられ(笑)、そこで初めて台本を作るという経験をしたことが、今の私の原点です。演劇部に入部していなければ、きっと私は別の道を歩んでいたはず。結婚して、子供を持ち、今頃は孫もいたかもしれないのに。なんて私は不幸なの……という不幸自慢をしながら、また、新しい作品に取りかかります。

最後に嬉しい報告を1つ。50周年の舞台がご縁で28年12月に東高校の芸術鑑賞会にクロックガールズが出演。在校生の前で演じることができました。

東高の絆

15回生 指方 浩之
(JAL 運航部機長)



昨年の春頃、初めて東高のホームページを見る機会がありまして、随分と背の高くなったワシントン椰子に驚きました。修学旅行の項目を見ると、今は飛行機を利用して沖縄に行っている事にも驚かされました。私は運航乗務員をしていますので、是非母校の修学旅行を担当したいと思い、副操縦士で20回生の久野哲くんと一緒に修学旅行のフライトを担当できるよう会社に調整を依頼しました。偶然にも引率の学年主任の先生が同級生だと分かったり、同行の先生が同級生の妹さんだったり、同級生の息子さんがいたり、思わぬ繋がりが出てきて、不思議な縁と東高の絆を感じました。客室乗務員に53回生の印象を尋ねたところ「とてもスマートな生徒さん達でしたよ。」との事で嬉しくなりました。私に

とって忘れることのできない仕事となりました事を感謝いたします。最後になりましたが、東高と萌生会の益々の御発展を心から願っております。

同窓会 活動報告



14回生 第6回 同窓会

開催日：平成27年10月10日(土)

場所：ホテル「ホップイン」アミング

イケイケGOGOのタイトルで集まった55歳と54歳。40年の時を飛び越え、「センセ〜イ」「〇〇く〜ん」周りから見ればさぞかし笑えたことでしょう…。

次回の還暦同窓会はdress code “赤” という案が出ていますので、14回生の皆さま、王道のちゃんちゃんこなり真紅のドレスなり真っ赤なunder wearなりを御準備いただき、2020年オリンピックイヤーにお会いしましょう!!



開催予定

31回生 第2回同窓会

31回生第2回同窓会を2018年1月に「二度目の成人式」として開催予定です。

時間・場所等詳細は未定ですが、今年中にご連絡させていただきます。

みなさま、ぜひお誘いあわせの上、ご参加ください。

31回生同窓会役員
(服部・内野(旧姓:林)・大榎・吉田)

各回生同窓会開催支援のお知らせ

萌生会では、各回生同窓会が開催しやすいように下記のような支援を行っています。ご利用下さい。

◎同窓会開催サポート金として**5万円支給**(但し1回限り)

・開催日、場所、担当者が決まりましたら事務局にご連絡下さい。

・終了後、参加人数と会の様子をお知らせ下さい。(要写真)

次号同窓会報に報告記載します。

同窓会ホームページ開設!!

会員の皆様の交流をさらに深めていきたいという思いから小野高速印刷株式会社の同窓会公式ホームページ「bikita(ビキタ)」を立ち上げました。同封しております別紙チラシに登録方法等記載しておりますので、ぜひご覧ください。この同窓会公式ホームページ「bikita(ビキタ)」は、セキュリティを考慮し、会員の皆様にID・パスワードをお伝えすることで安心して使用していただき、学校や会員の皆様の近況などの情報発信の場にしていきたいと思っております。なお、ID・パスワードは同封しております振込用紙の左上に記載させていただいております。必ず大切に保管いただきますようお願い致します。

会員の皆様方の交流を深め同窓会活動の更なる活性化と発展の為にも、会員の皆様のご登録を何卒よろしくお願致します。

「わが青春のシンボル・時計塔」 3回生 田代 清伸(青山) [表紙作者]



「萌生会」会報の表紙絵を描く取材のついでに、保健室の藤原さん(17回生)の案内で半世紀ぶりに北館4階の美術室に行きました。恐る恐るというか、タイムカプセルを開ける感じでドアを開けると、驚いたことに私の描いた油絵が数点掛けてあり、美術準備室の棚にも数点立てかけてあったのです。その当時の美術担当の薬師寺勉先生が、額装して大事に保存してくれていたようです。美術部で過ごした甘酸っぱい青春時代の出来事が、一気に蘇ってきて胸が熱くなりました。

東高校卒業後の半世紀にはいろいろありましたが、8年前の還暦をきっかけに、30数年親しんできた俳句を田代青山という号で生業とし、俳句結社「星だより」の主宰として梅田産経カルチャー等の

講師や尼崎文芸祭俳句部門の選者をしています。絵の方も還暦で「新制作協会展」に初出品し、初入選で「新作家賞」初受賞、次年度も続けて受賞しました。また昨年2月から3月にかけて尼崎信用金庫の尼信会館で150号を中心に700号までの20作品で個展を開き、尼崎美術協会展には会員として毎年1か月間、150号大の作品を発表しています。

このたびの表紙絵は、「萌生会」50周年を記念して再設置された時計をという「お題」でしたので、校門付近やら学校の北東角の歩道橋の上などからスケッチしましたが、結局、北館と南館をつなぐ渡り廊下の下から見上げたアングルに決めました。

東高校で過ごした3年間の登校時には仰ぎ、部活の美術室からは相對峙した時計塔は、何枚か描いているうちにだんだん高くなり、我が青春のシンボルと化しました。二度と戻らない青春、今生きていること生かされていることに感謝です。

賛助金・会計報告

賛助金

平成27年(2015年)の会報10号で賛助金のお願いをしましたところ1,365,220円の御協力がありました。

皆様のお志を十分に生かせるよう、萌生会事業に活用させていただきます。

ありがとうございました。

平成27年度会計報告

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	9,147,460	会報10号発行	1,763,635
50周年会費	318,000	事業費(50周年)	2,475,381
記念誌売上	152,000	(時計台)	2,009,664
卒業生会費	1,246,500	卒業ファイル・皆勤賞	277,711
利子	922	通信費	3,982
合計	10,864,882	合計	6,530,373

次年度繰越金 10,864,882 - 6,530,373 = 4,334,509円

訃報



辻田 登 初代会長(1回生)が平成28年2月ご逝去されました。昭和41年萌生会創立と同時に会長に就任、若干18歳から実に40年という長きにわたり萌生会のためご尽力いただきました。ここに会員の皆様にご報告し、心より感謝しご冥福をお祈りいたします。

賛助金ご協力をお願い

萌生会は皆様のご卒業時納入の会費で活動しています。これまでにイベント開催、校舎設備修復の支援、同窓会支援などの活動を継続的に実施しております。

つきましては萌生会の今後の活動をより一層充実させるべく、卒業生会員の皆様に賛助金2,000円のご協力を、お願い申し上げます。

封筒内に振込用紙を同封しておりますので、お近くのコンビニ、または郵便局からご入金して頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

萌生会50周年記念同窓会の準備からお手伝いしました。全西宮中学校の還暦式を手伝った時の大変さが思わずよぎりました。が、先輩役員の方々に引っ張っていただきながら何とか無事に参加者に喜んでいただき終えることができました。今回11号の会報も無事完成しました。記事をお寄せいただいた皆さんありがとうございました。

世代を超えて和気あいあい役員会は運営されています。若い回生の皆さんにもっともっと参加していただき萌生会の絆が、より強くなることを願っています。久保優治・辻 純治(8) 高田 眞壽美(7) 田村 正子(1)